

教育目標 「自ら学び共によりよく生きようとする児童の育成」
学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>
学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

令和元年12月24日
七尾市立和倉小学校
TEL 62-2070
FAX 62-2082
文責 岩崎

いざという時に備えて！

「志賀原子力発電所内で事故が発生し、市災害対策本部から屋内避難命令が出た時の避難の仕方を理解し、安全迅速に避難できるようにする。」というねらいで、13日(金)のすくすくタイムに避難訓練を行いました。

子どもには、事前に①放射能について(色もにおいの無いので気づきにくい)②避難の仕方(教室外にいる時は直ちに自分の教室に避難する、外気が室内に入らないようにするなど)③訓練時の留意点(放送が入ったら動きを止め放送を聞く、落ち着いて行動する、教室に戻ったら部屋の中央に集まる)ことを指導しました。そして、予告なしで実施することも伝えました。

教頭先生の放送で子どもたちはあわてずに落ち着いて教室に入りました。(1次避難)教室のカーテンを閉め人数確認をした後、マスクをつけて待機しました。そして、2次避難の放送で体育館に避難しました。2次避難の放送から避難完了まで2分46秒でした。

私は、「事故が起きた時には放送をしっかり聞き、できるだけ放射能を受ける時間を短く、空気を直接吸い込まないことが大切。」と話しました。最後に、「今までの避難訓練



と違うことはどんなことでしたか？」と質問すると、寺井健太郎さんは、「今までは外に避難したけれど、今回は体育館でした。」近藤柚葉さんは、「火事や地震と違い、事故の避難訓練だった。」とそれぞれ答え、みんなから拍手をもらっていました。

今回の避難訓練はねらいが達成され、子どもたちにとっても良い経験になったと思われます。

また、11月28日(木)のすくすくタイムに、予告なしの火災想定での避難訓練を実施しました。理由は、10月に行っ



た訓練でいくつかの反省点があったからです。今回は、職員にも知らせないで行いました。実施後の児童に振り返りを見ると、「動きを止めて放送を聞くことができた人」は、93.7%で前回と比べて19.1ポイント、「静かに待つことができた人」は、88.9%で7.2ポイント上回り、「ふざけないで避難場所に移動できた人」は、92.1%で前回と同じ結果でした。前回の教訓が生かされ、「さすが“やるときはやる!!和倉っ子”」だと思いました。



先生のドキドキおはなし会 11日(水)

- 1年生 白根先生 「わすれられないおくりもの」
- 2年生 西田先生 「A Beautiful Butterfly」
- 3年生 藤原先生 「ライフタイム」
- 4年生 三野先生&キャサリン先生 「What do you see?」
- 5年生 真木先生 「おにたのぼうし」
- 6年生 竹原先生 「へなちょこ」



充実した2学期でした！



23日(月)は、「あゆみ渡し」に来校していただき、ありがとうございました。今日は2学期の終業式がありました。ふれあい集会などの学校行事、3～6年生は器械運動交歓会などの市の交流事業もあり、盛りだくさんの2学期でした。和倉っ子は、これらの活動を通して、自己肯定感や自己有用感を高めることができました。

このように、子どもたちは学校生活の中で、様々な力を確実につけてきました。これは、本人の努力はもちろんのこと、地域や家庭の皆様の学校教育に対するご理解とご協力のお陰だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



また、あゆみ渡しに配布した「自己有用感を高める取り組み」についても、夏休みの取り組み例を参考にして、重ねてお願いいたします。1月8日(水)の始業式の時にお子さんに持たせてください。

がんばっています 和倉っ子!!

◇第31回 MOA 美術館児童作品展

(書写の部)

七尾美術館館長賞	5年 鹿山 萌々
七尾市PTA 連合会賞	2年 赤坂 悠人
入選	3年 山田 虹来

(絵画の部)

入選 3年 帽子山 棕介



※以上、前回27号に掲載していませんでした。大変申し訳ありませんでした。

◇七尾地区納税貯蓄組合連合会「税についての作品」

(書道の部) 入選 4年 小崎 由愛



Let's call..オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)

TEL 0767-52-0783

相談内容: 悩んでいること, 困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

